

- 1 朝、親が起こさないと起きてこない
- 2 朝起きたとき、家族同士が挨拶することはない
- 3 朝食を食べないで登校させることがある
- 4 朝食は、パンなどできあいのものが多い
- 5 テレビ鑑賞やゲームなど、1日2時間以上している
- 6 子どもが夜遅くまで勉強するのは好ましいことと考えている。
- 7 勉強を理由に、家の手伝いや掃除をさせない
- 8 宿題をだらだらするなど、時間の管理は子ども任せで無頓着である
- 9 学校に行く準備は、当日の朝起きてから慌ててしている
- 10 子どもが話しかけてきたとき、つい「後で」と言ってしまうことがある
- 11 子どもが話しかけてきたとき、「聞く」よりも「話し」てしまう
- 12 テレビやメールに夢中になって、子どもの顔を見て会話することが少ない
- 13 小さな子どもにも、個室の勉強部屋はあったほうがいい
- 14 食卓やリビングに、辞書や辞典、地球儀は置かない
- 15 週に一度も、子どもと一緒に夕食をとる機会がない
- 16 子どもや家族について夢や希望を一緒に話し合ったことがない
- 17 子育てを「楽しい」と思ったことがない、考えにくい
- 18 子育ての喜びは「人生の中でわずかな時間しか味わえない」と考えたことがない
- 19 子育てに、つい「正解」を求めて思い悩んでしまうことがある
- 20 親自身、日常的に読書をする習慣がない
- 21 親自身、辞書を引いたり調べたりする習慣がない
- 22 家が「寝るだけの場所」となってしまう
- 23 食事の時間、テレビをつけっぱなしにしている
- 24 日曜日の夜、家族そろって夜更かしをしてしまうことがある
- 25 会社が休みの日、子どもと一緒に過ごす時間を設けていない
- 26 自分の仕事内容や社会の仕組みなど、子どもに話す必要はない
- 27 地図を片手に散歩や旅行をすることはない
- 28 子どもを連れて図書館や美術館、博物館などに行ったことがない
- 29 子どもに対して、「誉める」ことよりも「叱る」ことのほうが多い
- 30 子どもがぼんやりと考える時間など無駄だと思っている
- 31 塾や習い事は、子どもが望めば毎日でも行かせたい
- 32 塾や習い事など、子どものスケジュールを把握していない
- 33 子どもの心が「傷つく」ことを恐れている
- 34 子どもに対して「うちうち」と、きっぱり言うことができない
- 35 学校の成績には無関心で、もっぱら塾任せにしている
- 36 授業参観に行ったことがない、行ってもわが子しか興味がない
- 37 子どもの友達関係に介入することがよくある
- 38 子どもの表情や声色、仕草に目配りしたことや、気をつけたことがない
- 39 わが子のちょっとした変化やサインに気がつかないことがある
- 40 子どもが学校を休みたいと言うと、とりあえず休ませてしまう